

# 変化のない政治が悪政の継続に

## 参議院選挙の結果をみた現場の声

参議院選挙の投票率は今回も半数の人がいきませんでした。「仕事でいけない」「どうせ変わらない」が挙げられています。

### 野党共闘の後退が

#### 残念な結果に

今回の選挙は野党共闘が一部ありましたが、多くはされませんでした。何で行われなかったかという点、野党共闘を脅威とする自公政権から激しく攻撃され、それに加えて一部マスコミやJ.P.労組が加盟する「連合」も批判的でした。これに野党共闘を進める側が十分な対応ができなかったことにあります。

この結果、野党共闘をすすめる勢力が後退し、自民党、公明党、維新などの改憲勢力が3分の2以上になりました。自公政権は選挙中「安定した政治が必要」と言っていました。しかし、その政治がもたらしたものは権力が一部に集中したことによる政治の腐敗、貧困と格差の拡大、先進国で最低の賃金、ジェンダー平等では146カ国中116

位に後退しています。

### 職場の労働環境

#### 改善と一体に

こうした現状を変えていかなければ私たちの生活は守れません。「選挙にいつても変わらないう。そして、日々の労働も我慢するだけでなく不満や要求を発信し、職場を改善していく運動が必要です。」と諦めるのではなく選挙にいつて政治を変えていきましよう。そして、日々の労働も我慢するだけでなく不満や要求を発信し、職場を改善していく運動が必要です。



5月11日、日比谷の集会後国会に向けデモ

### 元局長に実刑判決

7月26日、長崎地裁は長崎住吉郵便局の元局長がお客さんから4億3000万円をだまし取った詐欺の罪で懲役8年の実刑判決を出しました。

これにみられるように特定局長や一般局の役職者による犯罪が起こっています。現場では真面目に働いているのに、犯罪が発覚すると郵便局に働く人は肩身の狭い思いをします。局内でお客さんと接しない管理者には分かりませんが、お客さんと接する担当者もそうです。

役職者の犯罪が続いているのは郵政の体質からきているものと思わざるをえません。かんぽの問題では不正営業を指示した人は処分されずに、その指示に従った人が処分されました。処分は役職者の一部に出たものの、甘いものでした。上には甘く下には厳しい処分ですませている郵政の体質。こうした郵政の体質を改善していくことが犯罪防止にもつながります。